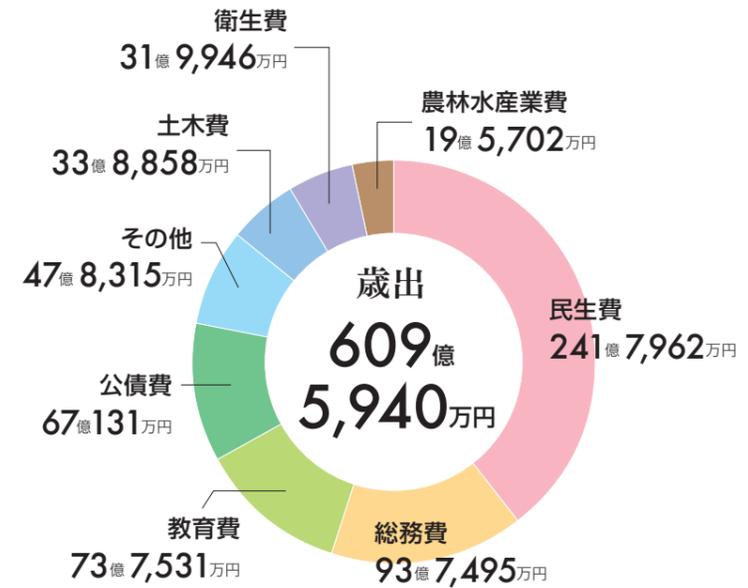
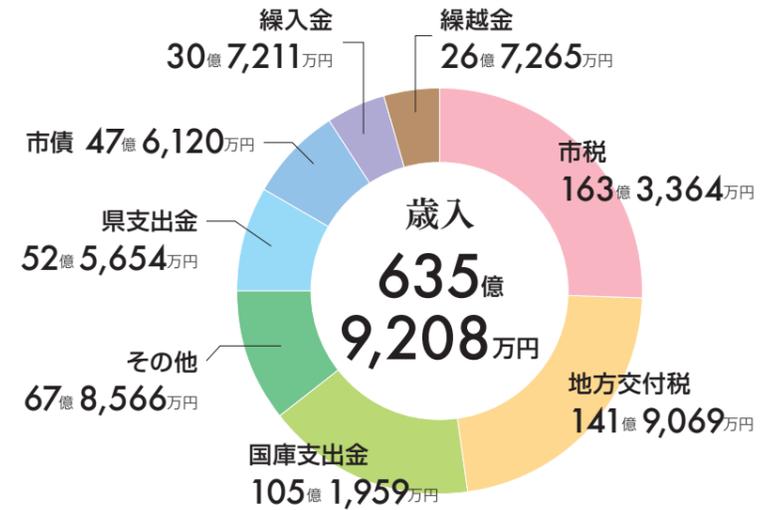


# 令和元年度決算

ココに注目!

○黒字決算となりましたが、経常収支比率は1・5ポイント悪化しました。  
○今後も社会保障費の伸びが続きます。○財政の健全化に向け、公共施設の縮減などに取り組む必要があります。



※一万円未満は四捨五入しています。



議長 阿多 己清

令和元年度一般会計では、歳入総額635億9,208万円、歳出総額609億5,940万円のお金が使われて市政運営が行われました。  
今回の決算審査では、市民の皆さんから納められた大切な税金が、効果的に使われたのか、議論が行われました。  
議会は、市長から提案される予算について審議し、説明に納得して承認します。その使い道をしっかり検証し、アイデアや知恵を出し合うことで、今後の政策にいかす流れを作ることができます。  
市民の代表である霧島市議会がどのように議論・検証し、認定したのか、主な事業を中心に掲載します。



広報広聴常任委員長 山田 龍治

## 国分体育館が使いやすくなりリニューアル

エアコンの設置や電球のLED化に加え、トイレや更衣室なども明るく使いやすくなりました。



## 各会計の決算額

会計名	歳入	歳出	差額	
一般会計	635億9,208万円	609億5,940万円	26億3,268万円	
特別会計	国民健康保険	147億2,794万円	150億4,414万円	3億1,620万円
	後期高齢者医療	13億7,212万円	13億7,825万円	613万円
	介護保険	110億1,711万円	112億9,704万円	2億7,993万円
	交通災害共済事業	1,126万円	2,248万円	1,122万円
	温泉供給	6,704万円	7,115万円	411万円

会計名	収入	支出	差額	
企業会計	水道事業	17億8,701万円	23億9,196万円	6億495万円
	工業用水道事業	2,243万円	2,471万円	228万円
	下水道事業	12億6,773万円	14億2,327万円	1億5,554万円
	病院事業	57億2,574万円	58億1,329万円	8,755万円

※一万円未満は四捨五入しています。企業会計は、収益的収入及び支出を掲載しています。

## 議員にココが聞きたい!



大塚 彩さん (隼人町在住)

**Q** 使い終わった後に、「認定」するのはなぜですか?

**A** 地方自治法233条の規定により、市長が予算の執行について説明責任を果たすことが目的です。認定が必要となることで、議会と行政の緊張感を保ち、より良い市民サービスへ反映させることができます。